

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
420002	XY1420002	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
情報リテラシーと倫理	岸野 清孝			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択	1年
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	1年		
授業目的							
・ 情報システム領域の基本的な専門技術を修得することを目的としている。 ・ コンピュータネットワーク社会と情報倫理、著作権、情報セキュリティ、技術者倫理の関係を理解し、公衆の安全と福利における技術者の知識の重要性、技術者が担う責任について学ぶ。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】情報リテラシーと倫理の全体概要説明 注意事項の説明 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。				第 9 回 【授】事例研究：プライバシー侵害と情報操作の事例 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。（レポート課題 1）を提出			
第 2 回 【授】情報リテラシーと倫理概要：情報リテラシーとは、情報倫理の意義 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。				第 1 0 回 【授】知的財産権と倫理：知的財産権とは、著作権とは、著作物の使用と利用 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。			
第 3 回 【授】ネットワークと情報機器利用時の基本ルール：ネットワーク社会と従来の社会の違い 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。				第 1 1 回 【授】情報セキュリティ：情報セキュリティと倫理、セキュリティ対策と技術 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。			
第 4 回 【授】ネチケットとホームページ：ネットワーク・エチケット、ホームページの注意事項 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。				第 1 2 回 【授】企業の製造物責任（P L）：製造物責任とは、訴訟事例、製品安全活動 レポート課題 2 を出題する。 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。事後に（レポート課題 2）（8 時間）を作成。			
第 5 回 【授】コンピュータウイルス：コンピュータウイルスとは、感染防止方法、ハッカーとは 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。				第 1 3 回 【授】企業の倫理：ビジネスにおける倫理、コンプライアンス（法令遵守） 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。（レポート課題 2）を提出。			
第 6 回 【授】個人情報不正利用：個人情報とは、不正利用による被害、振り込め詐欺 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。				第 1 4 回 【授】技術者の倫理：技術者の倫理とは、正直性・真実性・信頼性、内部告発 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。			
第 7 回 【授】情報漏洩対策：情報漏洩の原因と問題点、個人情報保護法、情報漏洩の防止対策 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。				第 1 5 回 【授】技術者倫理と JABEE：倫理問題解決に必要な能力、倫理問題の分類と対処法 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。			
第 8 回 【授】プライバシー侵害と情報操作：プライバシーの権利と保護、情報操作 レポート課題 1 を出題する。 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1j 時間）、復習（2 時間）をすること。事後に（レポート課題 1）（8 時間）を作成。				第 1 6 回 【授】定期試験 【前・後】事前に重要事項をまとめること			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合（%）
定期試験							80
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							20
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
・ 評価の分布などをポータルにて公表する。							
教科書参考書							
資料を配布する（本校の講義概要からダウンロードし、各自がプリントアウトする）。							
受講に当たっての留意事項							
・ 出席管理システムにより出席を入力すること。 ・ 1/3 以上欠席すると、期末試験の受験資格がなくなる。 ・ レポート提出は期限厳守。期限後の提出も認めるが減点する ・ 資料は事前にポータルからダウンロードして、コピーを持参すること。1 ページに 6 コマで印字すること。							
学習到達目標							
・ コンピュータネットワーク社会と情報倫理（ネチケット、ウイルス、個人情報、プライバシーなど）の関係を理解し、基本的な知識を習得する。（定期試験： 2 5 %） ・ 情報倫理に関する事柄について正しいか誤りであるかの判断がある程度できるようになる。（定期試験： 2 5 %） ・ 情報倫理に関連する義務と責任（ウイルス、個人情報、著作権、情報セキュリティ、P L、技術者倫理など）を学び、それらが情報倫理の問題解決にどのように役立つかを理解し説明できるようになる。（定期試験： 3 0 %） ・ 自己学習による調査により情報倫理について、さらに考える力を養う。（レポート： 2 0 %）							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標： E、 G							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習